

# 理科の見方・考え方を働かせるアプリの作成について

仲間隆博

## 作成の流れ

### 【1】 SharePoint リストの作成

情報を格納する SharePoint リストを作成します。

### 【2】 Power Apps アプリの作成

【1】の SharePoint リストにデータを入力する Power Apps アプリを作成します。

## 【1】 SharePoint リストの作成

### 1-1 SharePoint サイト

SharePoint リストは、SharePoint サイトの中に作ります。

#### (1) SharePoint を開く

Microsoft365 ホームから **SharePoint** を開きます。

#### (2) サイトを追加する

**+サイトの作成** ボタンをクリックし、サイトを作成する。

#### (3) チームサイトを作成する

SharePoint には **チームサイト** と **コミュニケーションサイト** があります。

ここでは **チームサイト** を作成します。コミュニケーションサイトとは、画像やテキストなどが使われたテンプレートを使ってサイトを作ります。

#### (4) サイト名などを設定する

サイト名は任意で構いませんが、ここでは「bio\_stagram」としておきます。

#### 【注意!】

プライバシーの設定は、プライベートにしてください。  
限られたメンバーがアクセスすることができます。  
パブリックにすると、すべての人に見られるので  
注意が必要です。

#### (5) SharePoint サイトができた

**次へ** をクリックし『完了』します。

The screenshot shows the configuration interface for creating a new SharePoint site. It includes the following fields and options:

- サイト名**: bio\_stagram
- グループメールアドレス**: (empty field)
- サイトアドレス**: (empty field)
- サイトの説明**: (empty text area)
- プライバシーの設定**:
  - パブリック
  - プライベート
- Buttons: **次へ** and **キャンセル**

### 1-2 SharePoint リスト

**+新規** ボタンから『リスト』をクリックします。

#### (1) 空白のリストを作成する

#### (2) リスト名を入力する

リスト名はそのリストの URL の一部になるため、英数字がいいと思います。ここでは「bio\_list」としておきます。

#### (3) 列を追加する

**+列の追加** をクリックし列を追加します。

「名前」「メールアドレス」「日付」などを「1行テキスト」として追加します。  
用途によってアレンジをしてください。

以上で、データの入れ物となる SharePoint リストができました。  
次に、データを入力するフォームを作っていきます。

## 【2】 Power Apps アプリの作成

### 2-1 SharePoint リストを基に Power Apps アプリを作る

Power Apps アプリは一から作る方法もありますが、ここでは先ほど作成した SharePoint リストを使ってアプリを作成します。

Microsoft365 ホームから **Power Apps** を開き **SharePoint** をクリックします。

#### (1) SharePoint の場所を選択する

**SharePoint サイトに接続** から **最近利用したサイト** の中の、先ほど作成した「bio\_stagram」を選択します。

#### (2) SharePoint リストを選択する

**一覧の選択** から先ほど作成した SharePoint リスト「bio\_list」を選択し  
**接続** をクリックする。

#### (3) Power Apps アプリができました

#### (4) 名前を付けて保存する

アプリを保存します。

**ファイル** メニューから **名前を付けて保存** をクリックして任意の名前を入力し **保存** をクリックします。

保存先は **クラウド** を選んでください。

### 2-2 Power Apps アプリと画面構造

Power Apps アプリには「画面」がいくつかあります。この画面に情報を表示したり、画面を通じてデータ入力を受け付けたりします。

この自動生成されたアプリには「**BrowseScreen1**」「**DetailScreen1**」「**EditScreen1**」の3つの画面で構成されています。これはブラウザ左の **ツリービュー** で確認できます。

### 2-3 アプリのプレビュー

ブラウザ右上の三角のボタン▶がプレビューボタンです。  
このボタンをクリックすると実行されます。

画面右上の「+」をクリックすると投稿画面に移ります。  
投稿画面で入力し、画面右上の「✓」をクリックします。  
リストに項目が出てきました。  
これをクリックすると、詳細画面に移ります。  
このままだと「添付ファイル」が表示されていません。

bio_list	+	bio_list	+
検索アイテム		Title	<input type="text"/>
		名前	<input type="text"/>
		メールアドレス	<input type="text"/>
		日付	<input type="text"/>
		添付ファイル	<input type="text"/>

トップ画面

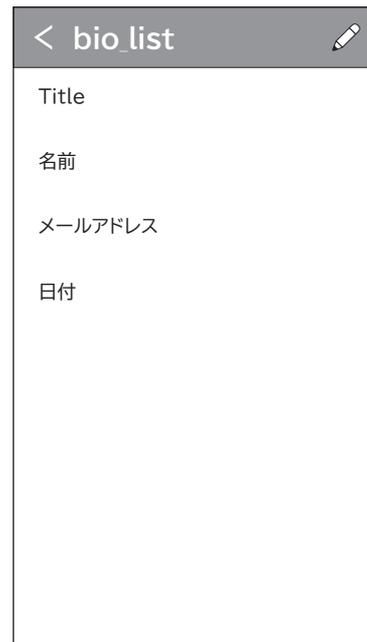
投稿画面

## 2-4 添付ファイルを表示する

ツリービュー から「DetailScreen1」画面を選択します。  
そこから「DetailForm1」というフォームコントロールが配置されています。  
このフォームに「添付ファイル」を表示するようにします。

「DetailForm1」をクリックしブラウザ右の プロパティ にある  
フィールド の 編集 をクリック  
「添付ファイル」にチェックを付け、  
最後に 追加 をクリックします。

「DetailScreen1」が選択された状態で  
挿入 レイアウト 高さが伸縮可能な空のギャラリー  
を選択します。  
データソースの選択 が出ますが、  
ここでは「×」をクリックし閉じます。



詳細画面

### (1) 参照するデータを設定する

ブラウザ上部のギャラリーコントロールの、Item プロパティに対して  
「DataCardValueXX (XX は環境によって異なります) .Attachments」を入力する。

Items = fx DataCardValueXX.Attachments

### (2) 画像コントロールを挿入する

ツリービュー から ギャラリー を選択し 鉛筆 アイコンをクリックして、編集  
状態にします。  
そして +挿入 から メディア 画像 を選択します。

### (3) 表示する画像を設定する

この画像コントロールの、Image プロパティ (ブラウザ上部) に対して「ThisItem.Value」  
と入力すれば、添付ファイルが表示されるようになります。

Image = fx ThisItem.Value

あとは、自由にアレンジしてお使いください。

〈参考文献〉

大澤文孝・浅居尚 2022 『さわって学べる Power Platform ローコードアプリ開発ガイド』 日経BP